



秋の遠足



10月18日、秋晴れの日曜日に遠足を行いました。入居者は12人、スタッフ・ボランティアが9人の小団体。バスで1時間半ほどで安芸高田市の神楽門前湯治村に到着。神楽専用の大きなドーム内にて昼食を摂りながら神楽鑑賞をしました。題目「悪狐伝」の対決シーンは迫力モノ。神楽の後、湯治村内を散策。昔ながらの景色が再現されており、職員と入居者と仲良く並んで散歩やお買い物をしています。湯治村内には資料館もあり、怖い鬼の面が飾られてました。こちらにも神楽用のホールがありました。バスの移動はちょっと疲れましたが、いいものを見たなあ！

(福原 裕子・溝田真奈美)



小島新開の家 障害者デイサービス



伝統行事 大竹祭り

10月18日(日)秋晴れのもと、大竹市の伝統行事『大竹祭り』が催されました。小島新開の皆さんも、昼食後からお目当ての山車を見るためさっそく出かけました。

この大竹祭りは、大竹駅前から約3kmの道中を奴行列や山車が練り歩く伝統行事です。特に山車は各地区ごとで数か月もの時間をかけて制作するそうです。今年もそれぞれ趣向を凝らした山車がたくさんありました。



(次ページ下へつづく)